

議事録

■会議名：令和元年度第1回学校関係者評価委員会

■日 時：令和元年(2019年)7月22日(月) 14:00～14:50

■場 所：YIC 保育&ビジネス専門学校 会議室

■出席者：渡邊正善 委員、龍石典子 委員、棟近浩美 委員、足利佳則 委員

須内章雅 校長、松本和宏 副校長、沖直彦 事務長、山本桂子 こども学科主任

■欠席者：児山美那子 委員

■書 記：松本和宏

■定足数：9名中8名出席。委員会規定により成立。

■議 題：

1. 前回委員会での今後の取組みについて
2. 平成30年度自己点検評価結果について
3. 学校に対する意見
4. 今後の取組み

1. 前回委員会での今後の取組みについて

○一コマの授業についてのシラバス作成を検討する。

(学校側) 今年度は保育士、幼稚園教諭ともに教育課程の変更が行われ、それに伴い、カリキュラム、シラバスも新たに作成した。一コマごとの授業についてのシラバスは今後検討していく。

○学生アンケートによる授業評価を行っているが、結果に基づく教員面談を実施していない。今後実施していく。

(学校側) 結果の基づく教員面談を実施していない。今後、授業見学の結果も含めて、実施していきたい。

2. 平成30年度自己点検評価結果について

(学校側) 自己点検評価書に基づく説明を大項目ごとに説明し、質疑応答を行います。

(学校側) 「1. 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標」について評価結果を報告
(質問・意見なし)

(学校側) 「2. 教育の内容」について評価結果を報告

昨年度より変更のあった項目

(◎：出来ている ○：ほぼできている ×：実施できていない、以下同様)

結果に基づく教員のレポート報告書・改善計画書等が作成されているか。	×	作成していない。今後、作成するように取り組む予定。
専門性や指導力等の維持や向上のための外部研修・研究へ派遣しているか。	◎	グループ内の企業主導型保育所へ研修に派遣し、専門性の向上につなげている。
専門性や指導力等の維持や向上のための自己啓発への時間的・財政的な支援をしているか。	×	平成 30 年度は支援していない。

(学校側) 今年度は教員相互間の授業見学を計画的に行っている。校長およびこども学科教員 6 名の 7 名が見学授業を行う。7 月までに 3 回実施した。見学した教員は「授業見学報告書」を提出、授業を行った教員は「授業実施報告書」を記入し提出している。授業の質の向上に寄与すると考える。

(学校側) シラバスについては、必ずしも授業開始前までに提出されておらず、一コマの授業についてシラバスが作成されていない。今後検討していく。

(外部委員) 企業主導型保育所に教員の方が研修に行かれています。企業主導型は認可外であり、保育士が一定割合在籍していればよいこととなっている。中には色々問題がおきているところもあるようだ。保育士の割合など調べていただきたい。

(学校側) 調べてお答えします。

(学校側) 「3. 教育の実施体制」について評価結果を報告 (質問・意見なし)

(学校側) 「4. 教育目標の達成度と教育効果」について評価結果を報告 (質問・意見なし)

昨年度より変更のあった項目

対外部に向けた就職実績を公表しているか。(パンフレット・HP等)	◎	就職実績をパンフレット、HPで公開している。出身高校へも掲示用資料を持参し、個別に報告している。
資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか。	◎	HPの情報公開にて、保育士・幼稚園教諭取得状況を公表している。

(学校側) 「5. 学生支援」について評価結果を報告 (質問・意見なし)

昨年度より変更のあった項目

(学校側) 「6. 社会的活動」について評価結果を報告 (質問・意見なし)

昨年度より変更のあった項目

教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を地域社会に提供しているか。	◎	県委託の認可外保育施設等の職員への研修や、高校へ出張講座を実施。子育てひろば「きらり」を開放。
--	---	---

(学校側) 昨年度は山口県こども政策課より受託を受け、依頼の認可外保育施設等の職員への研修を行った。内容は事故防止に関するもので、8月から11月に毎月1回行い、参加者はのべ160人であり、参加者からも好評であった。従来の高校への出張講座、子育てひろば「きらり」の活動とともに今後も、地域に教育資源を提供していきたい。

(学校側) 「7. 管理運営」について評価結果を報告

(外部委員) 理事会・評議委員会の議事録は公表しなければならないのですか。

(学校側) 大学などはHPに公表している大学もあるが、専門学校はほとんどの学校が公表していない。HP等に公表する必要があるのか確認したい。

(学校側) 「8. 財務」について評価結果を報告 (質問・意見なし)

(学校側) 「9. 改革・改善」について評価結果を報告 (質問・意見なし)

昨年度より変更のあった項目

自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか。	○	こども学科では、平成 29 年度入学生を対象に教育課程の見直しを実施し、平成 31 年度入学生対象の見直しも行った。結果の検証が不十分。
--	---	--

(学校側) 平成 29 年度の教育課程の見直しでは実践力を重視した。特にピアノに関しては毎週1回は必ずピアノに触れるカリキュラムを組んだ。成果がでていいる。また今年度の教育課程の見直しでは、実践力を身につける前段階として、人間力、職業人基礎力、対人援助力を身につけることが必要であると考え、総合基礎演習の授業などで取り組んでいる。

3. 学校に対する意見 (意見なし)

4. 今後の取り組み

委員会の討議内容を反映して

- ・企業主導型保育所について、要件などを調べる。
- ・理事会・評議員会の議事録公表の必要性について確認する。
- ・学生アンケートによる授業評価を行っているが、結果に基づく教員面談を実施していない。今後実施していく。

以上